



平成29年1月号

国民生活産業・消費者団体連合会

「生団連ニュースレター」は、国民の生活・生命を守るという使命を追求する生団連の取り組みに関する最新情報を、日頃ご支援いただいている皆様にお伝えしています。

平成29年 年頭所感 会長 清水信次

明けましておめでとうございます。新年を迎えるにあたり、国民生活産業・消費者団体連合会を代表しご挨拶を申し上げます。

昨年も4月に発生した熊本地震をはじめ、全国各地で自然災害が多発しました。被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早く通常の生活に戻られることを心よりお祈り申し上げます。

昨年5月に米国のオバマ大統領が被爆地の広島を初めて訪問し、原爆死没者慰霊碑に献花したことは、戦後71年で大きな節目ではなかったでしょうか。戦前・戦中・戦後を生きてきた私には感慨深いものがありました。また、英国のEU離脱決定や米国大統領選挙の結果等、これまでとは異なった価値観による判断が下された年でもあり、世界的に変化の大きい年でありました。

改めて我が国の将来を見据えるにあたり、世界の中の日本の立ち位置をしっかりと考えなくてはなりません。国内だけを見ると人口は減少を続けておりますが、世界の人口は今や74億人になろうとしており、増加の一途です。それに伴い、水・食糧・資源の問題や環境問題、更には自然災害等、課題は山積しており地球的な視野で物事を考えていかなくてはなりません。日本はこれまで幾多の困難を乗り越え、世界に誇る豊かな社会を築き上げてきた歴史を有しています。我が国の将来だけでなく全世界の将来のためにも、その経験値を存分に発揮していかなければなりません。

このような中、当連合会は、国民生活の安全・安定の確保と質の向上、関連企業の健全な発展への貢献を通じて、「国民の生活・生命を守る」という使命を追求し続けるという活動指針のもと、小さな枠に捉われることなく幅広い視野を持ち、事業者の利益ではなく生活者の利益を第一に会員一丸となって日本社会が抱える大きな課題である、「災害対策」、「食品廃棄問題」、「エネルギーと環境問題」、「人口減少・超高齢社会への対応」という4つの課題に対し当連合会ならではの方法で果敢に取り組みを進めているところです。お陰をもちまして、昨年12月に設立5周年を迎えることができました。これもひとえに関係各位の皆様方のご理解とご支援の賜と改めて深く感謝を申し上げます。また、設立5年を迎え基礎固めにも目途がついた今こそ、今後の更なる飛躍を期するため、会長職を後任に託すべきであると考え、これまで会長代行として常に私をサポートして頂いた、株式会社ゼンショーホールディングス会長兼社長の小川賢太郎氏に次期会長を要請させていただいたところです。なお、本年、会長交代の手続きを行う予定であると同時に、私につきましても、新会長のサポート役として引き続き活動が続けさせて頂きたいと考えております。

皆様には、引き続き本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

以上

平成29年 年頭所感 会長代行 小川賢太郎

明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

生団連は、清水会長が「消費者団体と生活産業を大同団結させ、日本の将来を明るく展望できる、国民の生活と生命を守る一つの基盤にする」という大志で創設されました。設立当初から私も一緒にさせていただき、茲三年は会長代行を仰せつかって、今まで努めてまいりました。昨年、清水会長より次期会長へのお言葉を頂きました。身に余る重責にご辞退申し上げておりましたが、重ねての強いご要請をいただき、皆様のご承認を頂けるのであればと、決意致した次第であります。お引受けするからには清水会長の思いをしっかりと受け止め、生団連の使命を果たすために邁進していく所存でございます。

生団連設立来この五年間で、ナショナリズムの高揚や保護主義の台頭など、政・経両面において国際情勢を見通すことは益々困難になりつつあります。その一方で、わが国経済は人口減少という構造的な問題を克服する道筋が未だ見えておらず、国家経営及び国民生活にとって状況はより不透明なものになってきたと言わざるを得ません。

そのような中、日本のGDPの74%、就業者数では70%を第三次産業が占め、わが国経済はその多くを消費支出に支えられているにも関わらず、消費者とその生活を支える生活産業の発言力は極めて弱いのが実情であります。

生団連は、国民の生活をより豊かにするために汗をかいているこの生活産業と、各地域で様々な活動を行っている消費者団体が手を結んだ、日本で唯一の大きな可能性を持った団体であります。

今こそ「国民の生活・生命を守る」という原点にしっかりと立ち、大いに議論し、個々の知恵と力を結集する時であります。そうすることで、大きな力となり、日本の国をもっと活力のある良い国にしていけると確信しております。

是非皆様と一緒に生団連を盛り上げてまいりたいと考えておりますので、本年も皆様の一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

以上



平成29年1月号

国民生活産業・消費者団体連合会

「生団連ニュースレター」は、国民の生活・生命を守るという使命を追求する生団連の取り組みに関する最新情報を、日頃ご支援いただいている皆様にお伝えしています。

平成28年度第2回常務理事会・第3回理事会合同会議



「高話」

◆生団連設立5年、更なる飛躍へ向けて



衆議院議員 野田 聖子 先生

12月2日（金）、ホテルニューオータニ「鳳凰の間」にて61名（代理出席含む）の役員の皆様にご出席いただき、平成28年度第2回常務理事会・第3回理事会合同会議を開催いたしました。

会に先立ち、衆議院議員の野田 聖子 先生より「女性の活躍は日本経済の再生」というテーマでご自身の経験を踏まえ、女性視点から日本社会が抱える諸問題について、大変貴重なご高話をいただきました。

その後の議事では、事務局より、設立から5年を迎えたことに対し、皆様方からのご理解とご協力に感謝を申し上げるとともに、これまでの軌跡についてご説明した上で、「本年度の活動状況について」、「会長人事案について」ご報告いたしました。「会長人事案について」は、清水会長より来年1月27日開催の臨時総会の決議をもって、小川会長代行へ会長職を引き継ぎたい旨を説明し、役員の皆様より全会一致で了承されました。

「すぐにできる、防災のアイデア」 ソナエラボ



すぐにできる、防災のアイデアを発信するプロジェクト「ソナエラボ」では、11月～12月にかけて2つの記事を更新しました！多くの皆様のアクセスをお待ちしております。ご意見等ございましたら事務局までお問い合わせ下さい。

《大塚製薬 様》



《カゴメ 様》



◆記事詳細はWEBへ！

<http://www.seidanren.jp/sonaelabo>

まってるよ！



アイデア募集中

ソナエラボ

検索

12月度定例勉強会

12月6日（火）、12月度定例勉強会を国際経済研究所と共催し、憲政記念館にて開催しました。今回は「米次期政権と国際情勢の展望」と題し、産経新聞社外信部長の渡辺浩生先生にご高話いただきました。

世界が注目した米大統領選挙の分析や今後の日本への影響等、メディアに携わっていらっしゃる渡辺先生だからこそ知りえた大変興味深いお話をいただきました。

多くの方にご出席を賜り、質疑応答では熱のこもったご意見を頂戴し、大変有意義な勉強会となりました。



【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会 佐原 ☎03-3662-5240 ✉:jimu@seidanren.jp
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-6-2 小津本館ビル7階 URL: <http://www.seidanren.jp/>